

「滅びの穴から引き上げてくださった。」 ヨナ書2章6～3章5節

イエス様が十字架に掛かって死なれたのは公開死刑ですから、誰もが知っています。3日後によみがえったことは、秘密にされました。「祭司長たちは長老たちとともに集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えて、『弟子たちが夜やって来て、我々が寝ている間にイエスを盗んで行った』と言いなさい、と言った。」(マタイ28・12.13)。「そこで、彼らは金をもらって、言われた通りにした。それで、この話は今日までユダヤ人の間に広まっている。」(同15)。イエス様がよみがえったことを知られることは、当時のユダヤ教にとつて都合が悪いので、誤魔化したのです。兵隊たちが寝ている間に遺体を運ばれたのであれば罰を受けるので、嘘であることは明らかなのに、民衆もそんなことはどうでもよかったです。

マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメは、御使いにイエス様がよみがえられたことを告げられても、「墓を出て、そこから逃げ去った。震えあがり、気も動転していたからである。そして誰にも何も言わなかった。恐ろしかったからである。」(マルコ16・8)。弟子たちは、マリヤに「イエスが生きていて彼女にご自分を現わされたと聞いても信じなかった。」(11)。「この話はたわごとのように思えたので、使徒たちは彼女たちを信じなかった。」(ルカ24・11)。エマオへの途上の二人の弟子も、よみがえられた話を聞いても、単に噂話として受け取り、信じないので「愚かな者達、心が鈍くて、預言者たちのいったことすべてを信じられない者達」(ルカ24・25)と叱責をイエス様から受けますが、それでもイエス様とわからない有様でした。「その後イエスは、十一人が食卓に着いている所に現われ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。」(マルコ16・14)。

「悪い、姦淫の時代はしるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし預言者ヨナのしるしは別です。ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。ニネベの人々が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。」(マタ12・39-41)

異教国アッシリアの首都であるニネベの王も指導者たちも民もヨナの警告に悔い改めたのに、選民と言われ、律法を知り、預言者の警告も続いていたユダヤの民がどうして、悔い改めなかったのでしょうか。

ニネベはアッシリア帝国の首都であり、アッシリアは征服した国の民を串刺しにし、皮を剥ぎ、手足を取り、口に鉤を付けてひきづったりした残酷な国家です。「アミタイの子ヨナ」(Ⅱ列王14・25)が預言したのは、イスラエルの王ヤロブアムの時代(BC847-783)で、「イスラエルの苦しみが非常に激しいのを主がご覧になったからである。」(同14・26)。この苦しい時に、「立つてあの大きな都ニネベに行き、これに向かつて叫べ。彼らの悪がわたしの前に上つて来たからだ。」(ヨナ1・2)。この時は、アッシリア帝国の最盛期であり、オリエント世界を支配していました。この国に滅亡を預言するのは大変勇気のいることです。

「私はヘブル人です。私は、海と陸を造られた天の神、主を恐れる者です。」(ヨナ1・9)と言って、大嵐をなだめる犠牲として海に投げ込まれます。ところが、大きな魚に呑み込まれたヨナは、3日目に吐き出されて、海岸に打ち上げられます。その様子は、まさに魚に呑み込まれた姿だったでしょう。ニネベは海岸から600キロあります。その道を恐ろしい風体の預言者がニネベの滅びを叫びながら歩いて来るのですから、人々は震えあがります。ヨナは、もはや命を捨てて裁きを叫ぶのですから、恐れるものはありません。凶悪なアッシリア人もすくみ上り、都に入って「あと40日するとニネベは滅びる。」(3・4)と叫ぶヨナの言葉に「神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者から低い者まで粗布をまとった。」(5)。王は、「人も家畜も、粗布を身にまとい、ひたすら神に願い、それぞれ悪の道と、その横暴な行いから立ち返れ。もしかすると、神が思い直して憐れみ、その燃える怒りを収められ、私たちが滅びないで済むかもしれない。」(8・9)と布告しました。

要するに悔い改めるか否かです。なにかイエス様の時代のユダヤと現代の日本は似ているようです。指導者は、決して悔い改めない、宗教を利用して権威を保持しようとしている、民衆は宗教を信じているふりをするけれども、実際には全く信仰的ではない。弟子たちもまた、復活を信じなかったということは驚きです。クリスチャンと自認している人々も、実は復活を信じていない人は多くいるものです。復活を信じていない証拠は、現実生活に囚われ、決して神の国のために生きていない人です。神には、その信仰姿勢がばれていることに気が付かないと思っっているようです。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

ヨナ 2:6 私の神、【主】よ。あなたは私のいのちを滅びの穴から引き上げてくださいました。

2:7 私のたましいが私のうちで衰え果てたとき、私は【主】を思い出しました。私の祈りはあなたに、あなたの聖なる宮に届きました。

2:8 空しい偶像に心を留める者は、自分への恵みを捨て去ります。

2:9 しかし私は、感謝の声をあげて、あなたにいけにえを献げ、私の誓いを果たします。救いは【主】のものです。」

2:10 【主】は魚に命じて、ヨナを陸地に吐き出させた。

3:1 再びヨナに次のような【主】のことばがあった。

3:2 「立ってあの大きな都ニネベに行き、わたしがあなたに伝える宣言をせよ。」

3:3 ヨナは、【主】のことばのとおり、立ってニネベに行った。ニネベは、行き巡るのに三日かかるほどの非常に大きな都であった。

3:4 ヨナはその都に入って、まず一日分の道のりを歩き回って叫んだ。「あと四十日すると、ニネベは滅びる。」

3:5 すると、ニネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者から低い者まで粗布をまとった。

Jon

2:5 The waters surrounded me, even to my soul;The deep closed around me;Weeds were wrapped around my head.

2:6 I went down to the moorings of the mountains;The earth with its bars closed behind me forever;Yet You have brought up my life from the pit,O Lord, my God.

2:7 "When my soul fainted within me,I remembered the Lord;And my prayer went up to You,Into Your holy temple.

2:8 "Those who regard worthless idolsForsake their own Mercy.

2:9 But I will sacrifice to YouWith the voice of thanksgiving;I will pay what I have vowed.Salvation is of the Lord."

2:10 So the Lord spoke to the fish, and it vomited Jonah onto dry land.

3:1 Now the word of the Lord came to Jonah the second time, saying,

3:2 "Arise, go to Nineveh, that great city, and preach to it the message that I tell you."

3:3 So Jonah arose and went to Nineveh, according to the word of the Lord. Now Nineveh was an exceedingly great city, a three-day journey in extent.

3:4 And Jonah began to enter the city on the first day's walk. Then he cried out and said, "Yet forty days, and Nineveh shall be overthrown!"

3:5 So the people of Nineveh believed God, proclaimed a fast, and put on sackcloth, from the greatest to the least of them.